



↑北風が吹く中、たいまつとちょうちんを手に集落を回る

★ 城川内でちょうちん行列 厳寒に耐え強い精神力養う

忠臣蔵で有名な赤穂47士が吉良邸に討ち入りをした旧暦の12月14日にあたる2月1日、城川内有志の会（飯尾明彦代表）はちょうちん行列を行いました。

これは、赤穂義士のあだ討ちにちなみ、厳寒に耐えて目的を達成する強い精神力を養おうというもの。ここ数年、開催日の天候が悪く中止になっていましたが、恒例行事を忘れてはならないと同会が復活させました。

当日は、北風が強く荒れた天気になりましたが、参加者はたいまつとちょうちんを手に、太鼓の音を響かせながら、城川内の伊勢神社、古射場、長光寺などを巡りました。

★ 劇団四季ミュージカル 本格的な舞台で観客魅了

家族が共通の感動を持ち、話し合いの輪を広げてもらおうと2月7日、劇団四季のファミリーミュージカル「王子とこじき」が、長島町文化ホールで公演されました。

同じ年の同じ日に生れた、そっくりさん。服を取り替えて2人はその後どうなったのか。入れ替わった2人のイタズラは、運命のイタズラに変わってしまいました。

会場に詰め掛けた約700人の観客は、出演者のすばらしい演技と本格的な舞台に魅了されました。



↑すぐれた舞台に観客の瞳は釘づけ（写真：劇団四季提供）

↓大人が小さく見えるほどの大石



★ ツ 直径13メートルの大石が姿現す ツルの遊び場 カメのそっくりさん

牧集落の茶畑が広がる高台に2月7日、直径が13メートルもあり、上部に水のたまる石がお目見えしました。地元の平山義雄さん（75）、山下幸男さん（67）、牧幸治さん（62）、原口哲彌さん（62）が「大きな石があったはず」と雑木を伐採して、姿を現しました。

昭和55年ごろ、石の周りに杉が植林されるまでは、この場所から黒之瀬戸方面を見渡すことができ、昔はツルが水遊びに来る石として知られていたそうです。

4人は石を眺めながら「石の形が亀の甲羅に似ているから」と『ツルカメ石』と名付け、「縁起が良いので縄を巻いて奉りたい」と話していました。